

【各教科の指導をどのようにつなげていくか】

～学習の振り返りを例にして～



①各教科で授業ごとの振り返りを大切にする！

(例) 振り返りシート等の作成

※学校として特に育成を目指したい資質・能力について、全ての教科の振り返りシートにも記載するなどの工夫ができますね！

②振り返りの指導・支援は学校全体の共通理解のもとで行うことが重要！



※その時間に学んだことを既習事項とつなげて理解を深める、新たな疑問を見つける、実生活に生かせるか等の視点をもたせる等、各教科や教員間で共通した振り返りの方法を用いて、学校全体で支援に当たる。

※児童生徒が振り返りシートを見返すことで既習事項を振り返られるようにするなど、整理することが大切です。(ICTを効果的に活用することも視野に入れてみましょう！)

【育成を目指す資質・能力を軸にしたプランニング】

～言語能力の育成を例にして～



全職員で共通認識：自校で育成したい資質・能力
自分の考えを豊かに表現する力の育成 (言語能力)

ステップ1：教科等横断的な視点で、各教科の年間指導計画をもとに相互の関連付けや横断する手立てをプランニングする



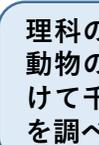
総合的な学習の時間の「千葉県のみまを發表しよう」と各教科の指導内容を関連付けて、自分の考えを豊かに表現する力の育成に結び付けます。

小学校 教科等横断的デザインフォーム (例)

| 4年生 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------|----------------------------|---------------|----------------------|----------------|-----------------------|----------------|-------------|---------------|-----------|----|----|----|
| 外国語 | 通年：積極的にコミュニケーションをとる態度を養う | | | | | | | | | | | |
| 国語 | よりよい話し合いをしよう | 説明のまとまりを見つけよう | 新聞をつくらう | 通年：言葉集め (言葉指導) | | 読んで考えたことを伝え合おう | 本をみんなにすすめよう | 調べたことをほうごくしよう | | | | |
| 算数 | 通年：問題解決学習の基礎を身につける | | | | | | | | | | | |
| 社会 | わたしたちの県 | 住みよいくらし | 安全なくらし | 郷土の発展につくす | | わたしたちの千葉県 | こまごまのつよつよ | 理科目下水の行方 | わたしたちの千葉県 | | | |
| 理科 | 季節と生き物 | 天気と気温 | 季節と生き物 | 季節と生き物 | 季節と生き物 | 季節と生き物 | 季節と生き物 | 自然の中の水 | | | | |
| 総合的な学習の時間 | 千葉県の自然を調べよう (川の流れをたどってみよう) | | 千葉県の「不思議」や「発見」を見つけよう | | 千葉県の特徴をまとめよう (紹介ポスター) | | | 千葉県ののみまを發表しよう | | | | |
| 音楽 | 伝えられてきた歌 | せんりつをつくらう | | | | | | | | | | |
| 図画工作 | 水々を見つめて | 絵から聞こえる音 | | 空想マップ | | | | | | | | |
| 体育 | よりよい発表のために | | | | | | | | | | | |
| 道徳 | 美しいもの、気高いもの | | | | | | | | | | | |
| 特別活動 | 運動会について話し合おう | | 〇〇フェアスティバルを成功させよう | | | | | | | | | |



国語科では、通年で取り組んでいる「言葉集め」の学習を生かして、自分の考えを適切な言葉で豊かに表現できるようにします。



理科の「季節と生き物」で気温と動物の関係を調べた学習と関連付けて千葉県に生息している動植物を調べることにつなげます。



図画工作の作品を鑑賞するための評価語彙の学習を活用します。千葉県の自慢を豊かに表現したり、互いの発表の良さを伝え合ったりします。

各教科間の関係を捉える

ステップ2：資質・能力の視点で実施状況の評価と授業改善を推進する



自分の考えや思いを豊かに表現することについて取り組んできたが、考えを持たせる手立てについても指導が必要だ。

教科の壁を超えて、PDCAサイクルを働かせることが重要！！

ステップ3：教科等横断的な視点でのまとめと振り返りをする

どの教科でも学習の目的を明確にして取り組むことで自分の考えに合う語彙を選択しながら表現しようとする姿が見られてきました。



上記のデザインフォーム詳細は、こちらから見る
ことができます。



教科等横断的な取組を充実させていくためには、教科等の目標の達成だけでなく、学級や学年、学校としての目指す姿の実現に向けて「授業の在り方」を考えることが大切です。